

令和4年度文化芸術イベント追い風事業 実績一覧表

No.	分類	団体名	事業名	開催日	参加者数	事業実績	記録画像	協賛金
1	主催	文化があふれるまちづくり委員会	親子de文化祭	令和4年7月30日	1,065	市内外の子どもや保護者を主対象とした体験型の芸術文化イベントを委員会主催で開催した。各体験コーナーで社会福祉協議会、文化協会会員、瀬戸内市アマチュア人形劇協議会、パソコンボランティア、市内地産地消研究グループ、邑久中教員などと連携を図り、相乗効果につながった。瀬戸内市出身邑久高校OBのプロトロンボーン奏者、馬場桜佑氏によるスペシャルコンサート及び瀬戸内市PR大使任命式もイベントに花を添えた。コロナ禍の中で感染症対策を徹底して開催した。瀬戸内市の先生や先輩が見守る中、家族と一緒に絵画、書道、パーカッション、クッキング、こどもひろば、パソコン、レジンアートなどを体験していた。目を輝かせて生き生きと体験・学習する姿が印象的だった。子ども向けイベントは午前に来場のピークを迎えるといった前年度の反省を生かすことが出来た。		
2	主催 (ホールパフォーマンス)	【主管】せとうち青空★カンパニー	ミュージカル「青空城★星の旅人」	令和4年5月1日	450	公民館登録グループのキッズダンスチーム「TeamFairy」と市内アフリカダンスチーム「錦海アフリカン」との異分野コラボレーションミュージカルを発表した。稽古から子ども達には舞台や芝居の技量だけでなくマナーや礼儀についても指導があり、お互いの良い点を生かし合ったハートフルな舞台となった。瀬戸内市では珍しく二部公演で実施し、観客の分散を図った。		
3	主催 (ホールパフォーマンス)	【主管】大笑い一座	大笑い一座特別公演「梟雄か英雄か！？～宇喜多四代ものがたり～」	令和4年6月26日	240	岡山戦国武将隊とコラボレーションして、瀬戸内市出身の宇喜多直家にまつわる宇喜多の系譜についてのオリジナル脚本で演目を制作し、発表した。市長や市内の歌手ら他団体などとの連携も観られ、楽しく地域の歴史を学ぶ意義深い機会となった。		
4	主催 (ホールパフォーマンス)	【主管】前結び着付	竹久夢二前結び帯結ファッションショー	令和4年12月4日	130	市民や邑久高校生がモデルとなる市民参加型の「前結び帯結ファッションショー」を開催し、竹久夢二の世界観を着物や前結び帯結に関連付けて発信するなど、日本の伝統的な衣装のすばらしさを再認識する機会となった。体験型の子ども向け和太鼓コーナーもあり盛り上がりを見せた。市民、高校生、公民館登録グループ、和太鼓演奏者との連携により、郷土と着物を結び付ける一つの大きなイベントとなった。		
5	主催 (ホールパフォーマンス)	【主管】日本二胡学院岡山教室	「二胡演奏 うららかに」	令和5年1月22日	103	中国の弦楽器、二胡の啓発、学習成果の発表のためのコンサート。「見上げてごらん夜の星を」や「宵待草」などの日本の有名な曲や瀬戸内市にゆかりのある曲を演奏する。		
6	主催 (ホールパフォーマンス)	【主管】箏曲三上社明寿会	新春の訪れと共に 箏曲明寿会 お弾き初め会	令和5年1月29日	150	「春の海」など、箏曲や尺八などの演奏によって叙情豊かな新春の事業となった。非常に高いクオリティの演奏により、満足度の大変高い公演となった。		
7	主催 (ロビーパフォーマンス)	【主管】せとうちこども合唱団 ティンカーベル	歌い継いでいきたい3月の歌	令和5年3月26日	80	別れと新たな生活に飛び込む3月、日本の心に歌い継がれる春の曲、卒業の歌を子どもたちが合唱し、披露するパフォーマンス。ロビーへの来場者を確実に受け付けることで、コロナ禍以降では初のロビーパフォーマンスとなる。		
8	協賛	つなぐ会	第10回 つなぐ・・・展	令和4年10月9日～14日	336	瀬戸内市内の詩・絵、陶芸、前結び、食文化、デザイン、書道、写真、染色、絵画、糸あやつり人形、箏曲、茶道が集う総合的な文化芸術展。今年度も瀬戸内市立美術館で開催。好評を博した。今年度をもって休止すると幹部から情報提供があった。		50,000
9	協賛	瀬戸内市合唱教育研究会	夢色あふれる音楽祭 合唱コンサート2022	令和4年10月2日	176	新型コロナウイルス感染症の影響から、出演者の変更など運営面でも柔軟な対応が必要となる中で、対策を徹底して合唱コンサートを開催した。邑久高校の生徒が考案したイベント名も事業の情報発信に効果的であり、連携がとられた事業となった。		50,000
10	協賛	瀬戸内市器楽教育研究会	夢色あふれる音楽祭 器楽コンサート2022	令和4年11月6日	430	新型コロナウイルス感染症の影響から、中学校吹奏楽部の不参加などの中で、対策を徹底して器楽コンサートを開催した。酔聖会ウインドプラスの団員や野崎めぐみ委員など、すべての参加団体が率先して準備などに携わり、円滑な運営ができていた。合唱コンサートと2日連続の開催となったが、市内の音楽を好む方が多く入場し、久しぶりの本格的なコンサートを心から楽しむ姿が見られた。		50,000
11	協賛	瀬戸内市吟剣詩舞研究会	第11回瀬戸内市吟剣詩舞発表会	令和4年11月27日	200	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年の12月から3月に延期したが、市内の吟剣詩舞流派3団体、7グループが出演、また、ゲスト出演など大盛況となった。出演者にとって意欲や意識の向上、生きがいにつながり、市民にとって貴重な伝統文化に親しむことができる機会となった。		50,000
12	協賛	瀬戸内市器楽教育研究会	親子体験音楽会	令和5年3月5日	中止	瀬戸内市の家族や子ども向けに開催する楽器体験イベントの予定であったが、主催者の都合により中止となった。		50,000
計					3,360			